

1 単元名 「〇〇〇〇」 (教科書名)

2 単元の目標 ※小学校学習指導要領(平成 29 年告示)解説算数編の目標を参照すること

- (1) 各学年の目標より、単元に関する目標を取り出し、(1)知識及び技能、(2)思考力、判断力、表現力等、(3)学びに向かう力、人間性等の順で明記する。

3 主な数学的活動

小学校学習指導要領(平成 29 年告示)解説算数編 p 13～p 15またはp 75より、
 ①第 1 学年から第 3 学年までは数学的活動ア～エのどの取組なのか明記すること。
 ②第 4 学年から第 6 学年までは数学的活動ア～ウのどの取組なのか明記すること。

4 単元について

(1) 教材観 ※小学校学習指導要領(平成 29 年告示)解説算数編の内容を参照すること

- ①本単元の学習を関連する指導内容(既習・未習)や単元の系統性を明記する。
 ②本時の教材で身に付けたい資質・能力や働かせたい数学的な見方・考え方を明記する。

(2) 児童観

- ①各種調査結果等の客観的なデータをもとに、本児童のよさと課題を明記する。
 ②日常の授業や学習状況から、本単元の学習に関連する目指す児童の姿を明記する。

(3) 指導観

(2)の児童観から、児童の実態を踏まえた授業者の思いや授業の意図等を明記する。

5 単元の指導計画

(1) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①～について <u>理解している</u> 。	①～ <u>することができる</u> 。	①〇〇〇〇〇〇〇〇を <u>考えよう</u> としている。
②～を <u>知っている</u> 。	②～ <u>することができる</u> 。	②〇〇〇〇〇〇〇〇について学んだことを生活や学習に <u>生かそう</u> としている。
③～ <u>することができる</u> 。(技能)		③〇〇〇〇〇〇〇〇を活用した問題解決の過程を <u>振り返って評価・改善しよう</u> としている。

(2) 単元で働かせる見方・考え方

〈記入例〉○○○に着目して捉え、△△△を用いたり、□□□を関連付けたりしながら、論理的、統合的・発展的に考える。

(3) 単元の系統性

6 単元の指導と評価の計画 (●時間)

※「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料の内容も参照すること

時	学習目標	学習活動	【評価の観点】
		予想される児童のつまずき(●)・教師の手立て(◆)	◎記録に残す評価(評価方法)
1			
2			
3			
4			
5			
6			

※小学校においても、単元内容によって「習得・活用・探究」を意識した計画をデザインすること

7 本時・学習のまとめ

(1) 本時のねらい(育成を目指す資質・能力や目指す児童の姿等)

(2) 本時で働かせたい見方・考え方

本時のねらいや評価規準については、「5 単元の指導と評価の計画」の内容を踏まえて記載する。

(3) 「探究的な学び」に係る授業構想

本時のねらいや数学的活動の取組をもとに、「探究的な学習における児童の学習の姿」を捉えた学習活動をどのように展開していくか、主張したいことを簡潔に明記する。

(4) 第●時の展開 ※数学的活動(問題発見・解決の過程)を意識した授業を展開する。

過程	学習活動・発問等	予想される児童のつまずき(●) 教師の手立て(◆)	【評価の観点】 教師の動き・役割(評価方法)
		導入	
展開			
終末			

※または以下の授業展開例でも可

過程	学習活動・発問等	予想される児童のつまずき(●) 教師の手立て(◆)	【評価の観点】 教師の動き・役割(評価方法)
【A1】 【A2】 数学化	○本時に関わる事象から 算数の舞台へ 1 問題を把握する。	〈予想される児童の反応〉 ○	★ICTの活用 問題を視覚的に捉えさせ、 課題を見いだすために活用 する。
【B】 課題の 焦点化	2 見通しを立てる。	ICT(1人1台端末)を活用する際は、 ねらいや目的「何のために」を明記する。	
【C】 問題 解決	3 問題を解決する。 (1) 自力解決 (2) 集団解決 (3) 全体共有 4 まとめ(本時のポイント)	〈予想される児童のつまずき〉 ● 〔具体的な手立て〕 ◆	【評価場面】思①：ノート
【D1】 活用・ 意味付 け 【D2】 統合・ 発展	5 振り返り、 条件変更、 転移を図る 等		【評価場面】態①：シート

8 板書計画(イメージ例)

①問題提示(場面イメージ、問題理解の図や吹き出し等)

※電子黒板で提示してもよいが、板書にも残すこと

②めあて、又は、学習課題

③見通し

④本時のねらいにつながる児童の考えや解決方法(図、表、式やグラフ等の数学的な表現)

⑤まとめやポイント等

⑥適用問題

⑦振り返りの視点(必要に応じて)